

住まいのウチイケモデルハウスを視察する
ロシアの行政関係者ら



の視察は初で、「非常に良い」と高い評価を受けた。訪れたのはユジノサハリンスク市職員で都市整備の省エネルギーを担当するスプルン・アレキサンドルさん(43)、ロシアエネルギー省職員のクラブチヨワ・ルボイフさん(63)ら3人。道が進めるロシア極東地域の寒冷地適応型省エネ技術海外展開事業の一環で、道内の省エネ技術を紹介するため、今回はロシアの行政関係者ら11人が4日から来道している。

同モデルハウスでは、システムを開発したシステム環境研究所(東京)の落合総一郎代表取締役所長と内池社長が案内。高気密高断熱の住宅内はほぼ均一の暖かさで、3人は熱心に質問し見て回った。

アレキサンドルさんは「1台のエアコンで家全体の冷暖房ができるのは実践的で使い勝手が良さそうで気に入った。設置地域の気候に合つか検証が必要だがロシアでも導入できそう」と語った。内池社長は「システムを参考にしたいという言葉をいただきうれしう。普及を進め環境に貢献していきたい」と語った。

(栗島暁浩)

1台のエアコンで
冷暖房を実現
室内を冷やす

ウチイケの住宅に感心

ロシア行政担当者ら来蘭

エアコン1台で住宅内の冷暖房を実現させる空調の実証事業で、ロシアの行政担当者らが7日、同事業に担当するウチイケの住宅を訪問し、システムを視察した。同事業で海外から